

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第3章 医療従事者の確保対策の推進

第2節 看護職員

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部保健人材課

1 課題に対するこれまでの取組実績

<p>(1) 看護職員の養成確保</p> <ul style="list-style-type: none"> → 看護師等養成施設の運営費や施設整備費等に対して補助 (H29:22 施設、H25 からの累計：108 施設) → 看護職員等の確保、県内定着を図るため修学資金を貸付け (H28：新規貸付 232 人、H25 からの累計：964 人) → 実践教育センターにおける看護専任教員の養成 (H29：31 人、H25 からの累計 186 人) → 実習受入体制の充実、新たに実習生を受け入れる施設の拡充に向けて支援 (看護実践教育アドバイザーの派遣 H29：20 施設、H25 からの累計：65 施設。実習施設への補助 H29：29 施設、H25 からの累計 190 施設) → 准看護師養成課程から看護師養成課程への移行 (県立衛生看護専門学校 H27.3 准看護課程廃止△40 人、H26.4～看護師課程定員増+40 人、H26～H30 入学者数の累計 110 人)
<p>(2) 定着対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> → 実習・演習などを充実させた修業年限4年の教育課程の導入に向けて、県立平塚看護専門学校の改修工事を実施 → 新人看護職員職場内研修を実施する病院に補助 (H29：130 施設、H25 からの累計：626 施設) → 看護職員が子育てをしながら働き続けることができるよう院内保育施設の運営費に対して補助 (H29：124 施設、H25 からの累計：599 施設) → 相談窓口を設置し、個々の事例に対応した勤務環境改善に取り組む医療機関を支援
<p>(3) 再就業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> → 看護職員に離職時のナースセンターへの登録を促進 (H29：新規登録者数 796 名、H25 からの累計登録者数：2,550 名) → ナースセンターにおいて就労相談、無料職業紹介等を実施 (H29:就職者 595 人、H25 からの累計：3,066 人) → 再就職促進に向け看護の職場見学会 (H28:随時開催、H25 からの累計：30 回) や就業相談会 (H29:4 回開催、H25 からの累計：17 回) を実施

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内					備考
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 看護職員の養成確保

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>看護師等養成所や学生・実習受け入れ施設等への支援を実施し、県内の養成施設数及び看護師等養成数が増加した。</p> <p>・ 養成施設 H25 以降+10 校、入学定員 H25 以降+630 人</p>
評価理由	<p>養成施設や入学定員が増加するなど、課題解決に向けて着実に進捗している。</p>
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P 146</p> <p>・ 看護師等に看護教育の魅力を実感できる研修を実施し、看護教員の志望者の増加を図るとともに、県立保健福祉大学実践教育センターにおいて専任教員を養成します。</p> <p>・ 在宅医療への従事を希望する看護師等に対して研修を行い、在宅医療に携わる看護職員の確保を図ります。</p>

(2) 定着対策の充実

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<p>新人看護職員職場内研修や院内保育等の職場定着対策が、多くの病院で実施されるようになった。</p>
評価理由	<p>離職防止研修や、定着促進に向けた院内保育補助を実施するなど、課題解決に向けて比較的順調に進んでいる。</p>
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P 146</p> <p>・ 看護職員の離職防止や職場定着を促進するため、院内保育など働き続けられる職場環境づくりなどに対して支援するほか、県医療勤務環境改善支援センターにおいて、看護職員をはじめとした医療従事者の勤務環境改善に主体的に取り組む医療機関を支援していきます。</p>

(3) 再就業の促進

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<p>未就業看護師等の復職支援に取り組んでいるが、ナースセンターを活用した就職者数はほぼ横這いで推移している。</p>

評価理由	再修業の促進に向けた様々な取組みを進めているものの、就職者数は横這いである。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	P146 ・県ナースセンターの認知度や利便性を向上させることにより、求人・求職数を増加させ、無料職業紹介による就職者数の増加を図ります。

4 総合評価

評価	評価理由
B	再就業の促進についてはほぼ横ばいの状況が続いているものの、看護職員の確保については県内養成数や県内就業者数が増加するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。